

マツダ デミオ ホイールアライメント調整パーツ取り付け Mazda Demio DY3W/DY5W



今回使用するトーションビーム式コイルスプリング サスペンション用アライメント調整シム(EZシム)や特殊工具は【アムテックス オンラインストア】から購入することができます。
<http://amtecs.co.jp/shop/>



今回の四輪アライメント作業に使用したテストは、John Bean Visualiner。
現在のホイールアライメントテストのラインナップについてはこちら
http://www.amtecs.co.jp/products/john_bean/index.html

約50mmローダウンしたデミオの現状を把握するためにアライメントを測定します。



測定結果は次の通りです。

John Bean V7によるマツダ デミオ DY系のリアサスペンションアライメント測定結果

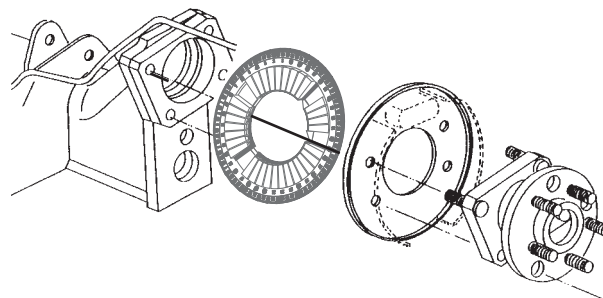
右にスラストアングルがついており、車両が左前へ押し出される傾向です。右リアトーが大きくトーイン(+), 右リアトーはトーアウト(-)、共に許容範囲を超えています。

リアのトータルトーは許容範囲内のため部品を交換する必要はないと判断します。



SPC EZシム

トーション・ビーム・アクスルとバックプレート間にテーパ状のシムを入れ、バックプレートから外側にあるハブベアリング、ホイールの取付角度を変更し調整します。EZシムはテーパ状シムが2枚重ねてあり、一度にキャンバーとトーを調整することができます。

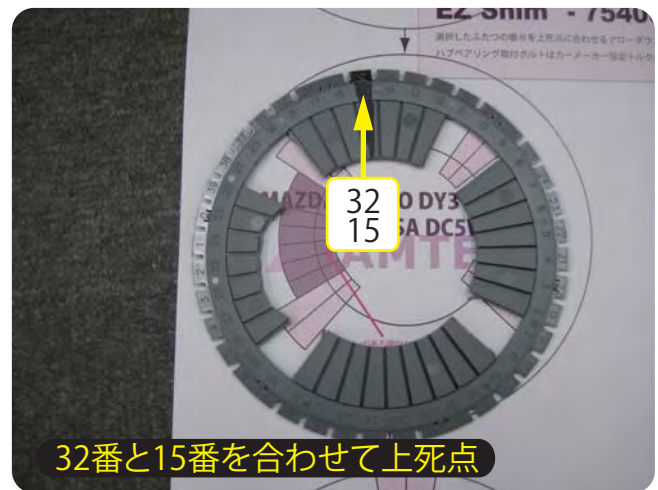
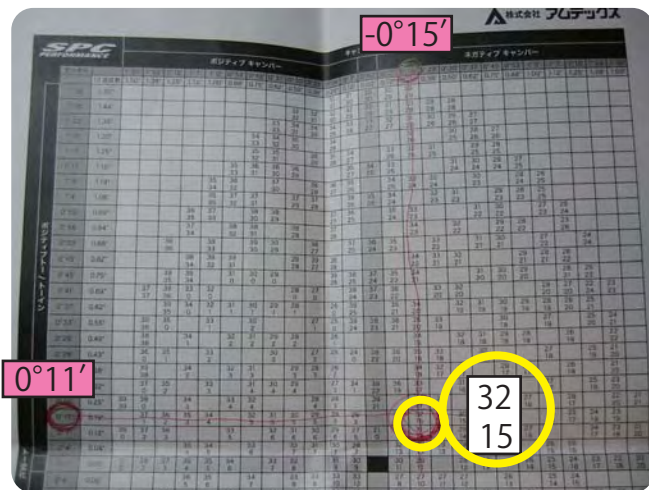




デミオ DY3WのリアアクスルにEZシム取り付け

右リアキャンバーは特に問題ありませんが、左リアに合わせてネガティブ方向へ12'調整し、右リアトーは現在の0'から基準値15'を目標に調整します。
付属のチャートから変化させたい数値、またはトーを優先させて近い数値を選択し、交わった番号をシムの上死点にします。トー変化量の欄に12'がないため11'を選択します。右リアのシムは32番と15番を上死点とします。

テンプレートに合わせてシムをカットします。ABSセンサー部分をカッターやリューターなどを使って削る場合は安全保護メガネを着用します。



32番と15番を合わせて上死点

リアサスペンション下でリフトアップします。(荷重が与えられた状態を保つ)
ジャッキングビームがないなどの理由でサスペンション下で上げられない場合はリフトアップ前に上死点に印をつけます。

アクスルからバックプレートやABSセンサーを外し、EZシム接触面を清掃します。バックプレートとトーションビームの間にシムを入れ、取付ボルトをカーメーカー指定トルクの15%増しで締め付けます。



シム接触面を清掃する



EZシムの取り付け方についてはこちらのビデオをご覧ください。
http://www.amtecs.co.jp/products/ez_sim/ezshim_demo.html



John Bean V7によるマツダ デミオ DY系のリアサスペンションアライメント測定結果

左リアも同じ要領でシムを取り付け、アライメントセンサーを取り付けランナウト補正を行います。
 右リアキャンバーは目標 $-1^{\circ}24'$ に対し、結果は $-1^{\circ}30'$ 、右リアトーは $+11'$ を目標とし、結果は $+12'$ となりました。
 ハンドルのセンターを確認して最後にフロントトーを調整します。

EZシム取付後



EZシム取付前



これらのアライメント調整パーツの購入、業販を希望される方、
 代理店やアライメントショップをお探しの方は弊社Webサイトへ
<http://www.amtecs.co.jp/shop/>